

概要報告書

2018 年度

事業種別	県域安全事業
団体名	認定特定非営利活動法人 サバイバルネット・ライフ
事業名	DV や性暴力で精神に障害をもつ女性たちの居場所事業
<p>2018 年度は、初期の裂き織や裂き織のアレンジの制作に加えて、端切れをキルトのように繋いだり、アプリケで絵画のような制作へと発展していきました。次第に参加者の方々が意欲的になり、昔親しんでやっていた記憶もよみがえる中で、これまで話されなかった思い出なども語られるようになりました。大きな変化は、作品がたまってくるにつれ、自発的に作品展を開催しようと意気投合したことでした。自主的に家で制作される方もありました。まちかど美術館で開催(6月26日～7月1日)された初となった作品展では、参加者の日常を写真とコメントで表現したコーナーは大変好評で、裂き織をつなげた1m四方の大きなタピストリーは、花かんむりの代表作となり、参加者全員で大いに達成感に満足しました。ほとんど毎日、在廊し接客をした方もおられ、常時裂き織などできるワークショップスペースでは、来館者と一緒に会話をしたり制作する一コマもありました。振り返りの話合いもしっかりとでき、それぞれの嗜好にあったワークショップもやってみたいと要望もいただいています。今後は、言葉による表現(詩や短歌)や絵画、写真、立体造形とますます参加者の自発性を見守りながら進めていきたいと思っています。ワークショップはその日の各人のコンディションによって、臨機応変に行いますが、昼食時の会話からも近況や想いが語られ、その後のワークショップにも途切れることのない集中力に来年度も楽しみにしています。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>作品展会場の大きなテーブルは来場者と話したり、お茶をのんびりする触れ合いの場になりました。和やかで温かな作品展になりました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作品の写真集を作りました。その時々のお気持ちを表現した詩や写真も入っていて、折々に変化する感情に気づかされます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作業の様子です。絵を描いたり、粘土をしたり、だらけたり、自由できる「居場所」です。</p> </div> </div>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。